



図書館だより 1月号

2026年1月発行 江南市立西部中学校 図書館司書 木本規志子



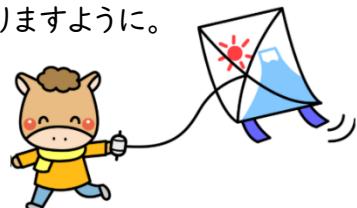
『昨日とおなじところに居れば初日さす』 桂信子



季語:初日

意味:毎日あたりまえのように出る太陽が最も崇高に見えるのが元日である。けれども宇宙の営みにおいては元日といえども特別な太陽ではないし、太陽が出ることにも変わりはない。そんな初日をごく自然に受け止めているのだが、年の初めと思えば、その太陽は新鮮である。去年と同じような日が輝くのである。(『桂信子の百句』吉田成子著より)

桂信子さんの俳句は中3の教科書にも紹介されています。同じ太陽なのに、人の思いでありがたく感じられる初日を詠んでいます。みなさんはどうな初日を迎えたか。3学期が始まり、あわただしい時間の流れに気持ちが落ち着かないこともあると思います。でも、宇宙の営みにおいては特別な変化はないはずです。昨日は去年に、今朝は今年になっただけで時間はつながっています。心に抱く思いも、昨日から今日とやってきたことも引き継がれていきます。皆さんにとって良い年でありますように。



図書館からの大切なお知らせ

★冬休み前に借りた本について

◎返却期限は、1月9日（金）です。返却できていますか？

図書館が開いてないときは、図書室入口前の返却ボックスに返してください。

★今年も「本のリサイクル市」を開催します！

◎学習漫画の伝記や、複数冊ある「少し前」の課題図書、文庫本などをリサイクル市に出します。

1月23日（金）～2月3日（火）まで、廃棄本（除籍図書の印が押してある本）を、図書館奥のブックラックの上に乗せておきます。その中から欲しい本が見つかったら、申込用紙に学年・組・氏名・欲しい本の題名を記入し、その場で図書委員か先生に渡してください。同じ本を欲しい人が複数いる場合は、2月4日（水）に抽選会を行います。そのため、廃棄本を渡すのは、2月5日（木）以降になります。

おすすめ作家



柚木麻子さん(ゆずき あさこ)

1981年生まれ。東京都出身。2010年作家デビュー。『ナイルバーチの女子会』で山本周五郎賞を受賞。柚木さんの作品には、女性同士の連帯や結びつきを表す「シスターフッド」を題材にした作品が数多くあります。日常の「食」を通して、人間関係や女性の心理を描いています。



『BUTTER』

この本は海外でも翻訳され、英国で「Book of the Year 2024」など三つの賞を受賞。濃厚なコクと鮮烈な舌触りで著者の新境地を開く、圧倒的長編小説。



『ランチのアッコちゃん』

アッコ女史の風変わりなお昼のコースを巡るうち、自然と活力が湧いている自分に気づいて……。「読むと元気になる！」と絶賛され、本屋大賞にもノミネートされたビタミン小説。



『終点のあの子』

2026年映画公開予定、當真あみさん主演。

入学式の日。中学からの内部進学者の希代子は、高校から入学した奥沢朱里に声をかけられた。海外暮らしが長い彼女の父は有名なカメラマンだった。希代子は風変わりな朱里が気になって仕方がないが、一緒にお昼を食べる仲になった矢先、ある変化が訪れる。

(出版社内容紹介より)



新着本！



映画の原作本



『ほどなく、お別れです』

2月公開。浜辺美波さんと目黒蓮さんの主演。長月天音著の同名ベストセラー小説。読んだ人すべての心を温かく包み込む“お葬式小説”。



『NATURE ANATOMY
自然界の解剖図鑑』
ロスマン, ジュリア/著



校長先生もおすすめ



『僕には鳥の言葉がわかる』
鈴木 俊貴/著

『変な地図』
雨穴/著

